

令和元年度 オリパラ教育推進校対象「地域セミナー」を開催しました

7月10日、島根県立男女共同参画センター『あすてらす』において、今年度の推進校を対象に事業説明等を行いました。

当日は、本事業の全国中核拠点（島根県の取組をサポート）として、筑波大学から3名の先生方をお招きし、事業の具体や様々な情報提供をいただきました。ちなみに、お越しいただいた真田教授と大林助教は、NHKの大河ドラマ「いだてん」を監修（スポーツ史考証）として協力されています。

<認定証授与>

今年度の推進校5校に対し、認定証を授与しました。



<事業概要説明>



真田教授からは、1964年の前回大会のエピソードや、本事業の趣旨や目的、経緯などの詳細についてご教示いただきました。日本におけるオリンピック・パラリンピックの開催に、世界からは教育の観点でも注目されていることを改めて認識しました。

<他地域の実践事例・教材の紹介>

福田研究員からは、オリパラ教育のテーマに副った特徴的な実践事例を紹介いただきました。様々なアイデアがあり、自校での取組を想像しながらメモを取る参加者の様子が見られました。また、質問に対する大林助教の回答からは、「無理にオリパラ教育の理念に結び付ける必要はなく、拡大的・発展的に捉えることも必要。オリパラの宣伝が目的ではない。」といった示唆を得ました。

<事務手続きについて>

事務局から、消耗品の購入、講師派遣等について具体的に説明しました。

<情報交換>

各校で事業を推進していく上で、必要な情報等について確認しました。また、アンケート調査の依頼、「オリンピック・パラリンピアン派遣プロジェクト」「おもてなし講座」の紹介を行いました。

島根県教育委員会は、2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」[オリンピック・パラリンピック地域拠点]に今年度初めて取り組みます。認定した推進校には自校の実態に応じた取組を期待するとともに、事務局としても筑波大学の協力を得ながら推進校をサポートし、県内全域にオリンピック・パラリンピックの機運が高まるよう努めてまいります。